

# いがらし 清 きよし

I G A R A S H I K I Y O S H I



## 県政通信 2018 AUTUMN

### ごあいさつ 栃木県議会「議長」として、補正予算の成立に尽力!

みなさん、こんにちは、五十嵐清です。日ごろは、私の政治活動をご支援いただきありがとうございます。本年は、大阪府北部地震、生命の危険を意識した記録的な高温・猛暑や西日本豪雨災害に代表される過去に類を見ない異常気象、最近でも北海道胆振東部地震と災害が頻発し、多くの尊い命が失われ、甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、1日も早い復旧復興を念じるばかりです。このような事態を受け、我われ栃木県議会として最優先で取り組むべき課題は、「県民の安全・安心の確保」であり、早急に必要対策を講じ、県民の不安を払拭しなければなりません。また、本県が取り組む、地方創生・人口減少対応のための「とちぎ創生15戦略」は5年間の計画のうち3年半が経過し、経済指標

では目標を達成するなど順調である一方で、東京方面への人口流出には歯止めがかからず、さらに実効性のある施策を積極的に展開し、「選ばれとちぎ」を実現していかなければなりません。そこで、平成30年度補正予算の審議にあたっては、安全・安心な暮らしの実現や緊急に必要事業を念頭に活発に議論し、57億1,300万円の補正予算を可決・成立させました。議長に就任して以来、公平公正な議会運営はもとより、政策提言のできる議会の実現に力を入れて参りました。県議としての任期も残り6カ月となりますが、子どもたちが夢と希望を持つことのできる「栃木県」として、未来に引き継いでいけるよう、最後まで全力で活動して参りますので、皆様の温かいご支援とご指導を心からお願い申し上げます。

H30年度  
補正予算

## 自民上乗せは22億5千万円 57億1,300万円の補正予算が成立

福田富一知事・県執行部から示された平成30年度補正予算案に対し、私五十嵐清の所属する県議会の最大会派である「とちぎ自民党」として、災害被害の未然防止や緊急に必要事業を念頭に22億5千万円の上乗せ・追加の要望をし、すべてが認められ、57億1,300万円の補正予算が成立しました。



### 平成30年度補正予算における主な事業と内容

- 1 緊急防災・減災対策:14億円**  
**(自民党・五十嵐清追加要望)**  
 自然の猛威から県民の生命・財産を守るため、河川の氾濫や土砂崩れ等の不測の事態に備え、防災・減災対策に積極的に取り組み、災害に強い県土づくりを推進する。
- 2 公共事業関連調査:3億円**  
**(自民党・五十嵐清追加要望)**  
 今後の緊急防災・減災対策に迅速に対応できるように、防災減災調査、用地調査、砂防調査などの測量や設計を事前に行う。
- 3 学校空調設備整備:5億円**  
**(自民党・五十嵐清追加要望)**  
 この夏の猛暑を踏まえ、生徒の健康保持のためには、空調設備が必要不可欠な状況となっていることから、普通教室にエアコンが設置されていない学校に来年夏に使用できるよう整備する。
- 4 学校施設長寿命化推進:5,000万円**  
**(自民党・五十嵐清追加要望)**  
 長寿命化計画に位置づけられている施設のうち特に老朽化が著しい物件の整備を、計画を前倒して整備する。
- 5 学校等ブロック塀緊急対策:8億円**  
 大阪府北部地震により、学校ブロック塀の倒壊で児童の尊い命が奪われた。本県の学校等で、設置年次が古く、現行法令の基準に適合しないブロック塀等について、早急に改修する。
- 6 農業農村整備:8億9,000万円**  
 農業の担い手が減少する中、農地の大区画化や老朽化した農業水利施設の長寿命化、耐震化を推進し、農地の集積・集約化を進め、地域農業の生産性向上を図る。

地域医療

# 市民病院跡に リハビリ病院整備へ

## H32年春オープン、一般外来にも対応!

旧市民病院跡地にリハビリ・センターを開設する予定の医療法人社団「友志会」と小山市の協議が難航していましたが、近く協定書が締結され、平成32年春に開院の見通しとなりました。リハビリ・センターの整備は、県南医療圏(小山市、栃木市、下野市、上三川町、壬生町、野木町)再編の一環として計画され、栃木県と小山市が病院開設者を公募し、昨年3月に友志会が選ばれていました。その後、土地所有者の小山市と友志会との間で、用地(一部が土砂災害警戒区域※)の対策の必要性について、意見が割れ協議が停滞していましたが、私は県の保健福祉部に仲介を要請し、今年4月から協議が再開されるようになり、8月に大筋合意になりました。友志会は、熊本地震などの状況等を踏まえ、用地の思川側から40mまでは震度6の地震を想定すると危険と判断し、当初の予定より用地の東側に寄せて施設の建設を希望、それともなう費用負担について小山市側が難色を示していました。有事における患者の安全確保や、工事費増への支援のあり方などについて検討を重ねた結果、友志会が施設を二階建てから「三階建て」に計画を変更し、小山市が敷地内の污水管の工事費と建設関係費2億3,000万円を追加補助することで合意しました。これにより、小山市内で初めて回復期のリハビリテーション病棟(ベッド数100床)が整備され、「質」「量」とともに充実したサービスを提供できるようになるとともに、新小山市民病院など近隣医療機関との連携により地域完結型の医療提供体制が実現できるようになります。診療科目としては、内科、神経内科、整形外科、リハビリテーション科が予定され、老人保健施設(ベッド数80床)が併設され、一般外来の診察も受け付けます。今後とも、地域医療の充実のため力を尽くして参ります。



※土砂災害警戒区域:地滑りやけ崩れが起きる可能性のある区域。開発に制限はないが、防災マップの作製や避難訓練などが義務づけられる。

議会改革

# 災害対応計画を 年内策定へ!

## 議会独自の対策本部で行政との窓口を一元化

本年は、大阪府北部地震、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震と災害が頻発し、多くの尊い命が失われ、甚大な被害が発生したことは記憶に新しい。本県でも、東日本大震災や平成27年9月の関東東北豪雨では、想定外の被害を被ったことを考えれば、私は県議会としても県民の生命・財産・安全等を守るため、迅速かつ適切に対応するための計画が必要と考えていました。議長就任を契機に、各政党・会派に呼びかけ、議会事務局にも必要な調査を依頼し、本県議会の大規模災害発生時における対応計画策定の準備を進めてきました。今般、栃木県議会災害対応計画(仮称)素案がまとまったことから、その概要についてご報告いたします。この素案では、災害発生後、迅速かつ円滑に議会運営等の正常化を図るため、情報が錯綜するなど、最も混乱する期間を想定し、情報を一元的に集約・管理する体制の構築や議員の行動のあり方等を中心に定めています。内容としては、①対象とする災害、②議員の安否報告、③被害情報収集・提供、④発生時・発災後の議会運営等、⑤議員の行動などが含まれています。栃木県議会の災害対応では、知事執行部の災害対策本部とは別に、議長を本部長とした独自の災害対策本部を設置すること、また議長が必要と判断した場合、知事執行部側が設置しない、特定の市町のみでの局所的な災害であっても、被害状況などから災害対策本部を設置できるとしたことが、特徴的であると思います。これらは、あくまでも知事執行部の災害対応から復旧への取組みを強力に支援することが目的でありますので、運用にあたっては知事執行部側と十分に意思疎通を図るとともに、必要な研修・訓練等も行っていこうと思います。近く、パブリックコメントにかける予定ですので、県民の皆様からのご意見もお待ちしております。



## いがらし 清 プロフィール

## KIYOSHI IGARASHI PROFILE



学歴	昭和 44 年	小山市大宇大行寺(思水ヶ丘)に生まれる		
	昭和 57 年	小山市立小山第一小学校卒業		
	昭和 60 年	小山市立小山中学校卒業		
	昭和 63 年	栃木県立石橋高等学校卒業		
	平成 5 年	ボンド大学経済学部経済学科卒業(オーストラリア・クィーンズランド州) Bond University, School of Business, Major in Business Economics		
職歴	平成 14 年	早稲田大学大学院法学研究科地方自治研究(科目等履修生)		
	平成 16 年	早稲田大学大学院法学研究科環境政策研究(科目等履修生)		
議会活動	平成 6年~	参議院議員岩崎純三秘書、衆議院議員茂木敏充秘書、		
	平成15年	衆議院議員佐藤勉秘書		
議会活動	平成15年	栃木県議会議員に33歳で初当選(連続4期)		
	平成18年	文教警察常任委員会・委員長		
	平成19年	生活保健福祉常任委員会・委員長		
	平成23年	県土整備常任委員会・委員長		
	平成24年	県政経常任委員会・委員長		
	平成27年	栃木県議会・副議長		
平成30年	栃木県議会 第105代議長に就任			

- 生年月日 昭和44年12月14日生(48歳) 平成30年10月1日現在
- 家族構成 妻、長女、次女、母、姪(6人家族)

《政策や議会提言での質問については、是非ホームページ (<http://www.igarashikiyoshi.com>) をご覧ください。》

ご意見・ご要望  
何でも結構です。  
皆様の声を  
お聞かせください。

# いがらし 清

とちぎ自民党議員会

〒323-0808 小山市出井1859-50(自宅兼事務所)

TEL.0285-20-3939 FAX.0285-20-5668

E-mail [kiyoshi.dream@eos.ocn.ne.jp](mailto:kiyoshi.dream@eos.ocn.ne.jp)

携帯電話からもご覧いただけます。

いがらし清の  
携帯ホームページは ▶▶

